

## V 分析のまとめ ～安芸高田市の特徴のある指数～

- ・ 資産老朽化比率が、55.7%と比較的高くなっています。  
(平均値 35～50%を超えていますので、今後は一定の水準で歯止めをかけるよう、計画的な維持更新のため、投資及び老朽化した資産の除去が必要です。)
- ・ 地方債の償還可能年数が、9.1年となっており延びてきています。  
(平均値 3.0～9.0年をわずかに超えています。現時点で地方債の償還能力に特に問題があるという状況にはありませんが、今後においては安定的な償還財源の確保や償還財源に考慮した起債を行う必要があります。)
- ・ 住民一人当たりの資産が 3,461 千円、負債が 1,220 千円と比較的高い水準にあります。  
(一般的な資産の平均値 1,000 千円～3,000 千円を超えており、合併により重複した施設があるものが主な要因と思われます。また、負債の平均値 300 千円～1,000 千円を超え比較的高い水準にあります。)
- ・ 他団体と比べて資産、負債、行政コストともに多い「大きな政府型」「高サービス型」であり、将来負担が大きいという特徴があります。適正な受益者負担、適正な規模の施設の管理について検討する必要があります。

## VI 今後の課題と活用について

このたびの本市の財務書類に基づく財政分析については、概ね平均水準を満たしておりますが、今後、更に精度を高めるとともに、有効に活用できるよう進めたいと思います。

これまで、本市の財務諸表の有形固定資産については、決算統計における昭和 44 年度以降の普通建設事業費の積み上げ計算で行っているため、今後の資産の適切な管理を見据えた資産台帳の整備を進める必要があります。

また、単なる情報作成が目的とならぬよう、資産・債務の適切な管理等へ有効活用できる方法を検討してまいりたいと考えております。

なお、類似団体・近隣団体と比較を行いながら、住民等に対して公表していくことが、財務諸表の作成のうえで求められるところですが、現時点では他団体の財務諸表の作成進捗状況・公開状況にばらつきがあり、比較が容易でないところもありますので、今後の課題とし、透明性の高い、わかりやすい財政状況の公表に取り組んでまいります。